

埼玉新聞

2021年 7月9日 金曜日
(令和3年)

きょうは川の日

ジェットコースター記念日



埼玉新聞社 〒300-0900 さいたま市
北區東町2-282-1
TEL 048-795-6930

きたま抄

昭和の日本を代表する歌手
・美空ひばりさん（1937
〜89年）に関する記事を本紙
4日付10面に掲載した▼戸田
中央総合病院を創設した中村
隆俊さんら医師の3兄弟が、若き日の
ひばりさんの家庭教師を務めた縁で、
ひばりさんの遺品が寄贈され、同病院
の記念館に展示されたことを紹介して
いる▼ひばりさんは敗戦、復興、成長
と歩んだ時代を背景に「港町十三番地」
「悲しい酒」「柔」と庶民に愛される
数々のヒット曲を歌い、絶大な人気を
博した。戦後日本の象徴的存在で「国
民的スター」「歌謡界の女王」と呼ば
れた▼ひばりさんは横浜市磯子区で生
まれた。地元紙神奈川新聞がまとめた
ひばりさんの年譜によると、48年に横
浜で本格的にデビュー。当時また少女
だったひばりさんを同紙はすでにイン
タビューしており横浜での人気ぶりが
うかがえる。翌年「悲しき口笛」が大
ヒットしてメタスターの階段を駆け上つ
ていく▼若くして日本を代表する歌手
になったひばりさんだが、歌手活動だ
けでなく、中村さんたちの助力もあつ
て都内の女子中学、女子高校を卒業し
た。後に、病から不屈のカムバックを
果たしたひばりさんの精神的な強さ
の原点を見る思いがする▼横浜生まれ
の私の祖母は、公演に出掛けるほどの
ひばりさんの大ファン。公演の人気ぶ
りを何度も聞いた。日本の至宝であつ
た。5歳の生涯はあまのこも早すぎた。2021・7・9